


他事業所で発生したトラブルの東京事業所での発生防止措置について

事業所で発生したトラブル（環境トラブル、設備・運転トラブル、労災）は、JESCO 本社に報告され本社から各事業所に周知されている。東京事業所では、他事業所で発生したトラブルについて連絡を受けた場合、事業所内へ事例周知し、あわせて設備点検やグループミーティングの実施、必要に応じ毎月の安全衛生協議会にて水平展開の結果報告を行うこととしている。下表にその事例を示す。

表 トラブル水平展開事例

年月・事業所 ・件名	内 容	水平展開内容
平成 17 年 11 月 豊田事業所 「圧力計の脱落 による PCB 排気 漏洩」	洗浄溶剤蒸留塔ポンプ圧力計の接続に袋ネジタイプを使用していたため振動により緩み PCB を含む洗浄液が漏洩し蒸気となって施設外へ排出した。	蒸留系・水熱分解系を中心に圧力計、温度計、水面計、弁類等の接続部を総点検し増締めを実施。その後、同様な袋ネジタイプをユニオンタイプに変更。また、蒸留設備室は換気出口はオンラインモニタリング対象となっていなかったが設備改善工事を施し切替によりモニタリングを可能とした。
平成 18 年 9 月 北九州事業所 「二次洗浄室における天井材の一部落下」	電気系統の点検時に電源を落とした時に、給気のみ止まったため、室圧が急激に低下しました。それに加えて、天井材のクリップが緩んでいたこと等により、二次洗浄室の天井（1000㎡）のうち約20㎡が落下。	東京事業所では PCB 処理作業区域内には天井板はなく、天井板がある一部の作業場通路について写真のように補強を施した。 
平成 18 年 11 月 豊田事業所 「 PCB のオイル パン内への漏洩」	トランスの外装部品を取り外す作業中、外装品でなくフランジ部をボルトを緩めてしまったため、フランジ部から PCB を含む絶縁油が70ℓ程度オイルパン上に漏洩。	職場内に事例周知と作業指示の徹底 指示された作業はかならず復唱し、勝手に「だろう判断」はせず上長への指示確認を行う。 現場にトラブル事例を表示し注意喚起。
平成 19 年 1 2 月 北九州事業所 「溶剤蒸留塔の サンプリング採 取装置からの漏 れ」	溶剤蒸留塔塔頂液のサンプリング採取装置チューブからの漏れが発生した。原因は装置シール部の異物かみこみによるリーク、フランジ部の締付力低下と推定。	サンプリング採取装置は、内容に応じて日常点検を実施しているが、改めて危険物ライン、排水ライン、分析室ごとに高濃度処理施設、低濃度処理施設計40箇所の漏れ確認、装置の目視チェックを実施し問題がないことを確認した。